

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 1 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	本人がより良く暮らす為の課題とケアのあり方について、生きる目標作りにつながるよう、日々の関わりの中からも検討する事が必要であるとする。	好きなことや得意な事が頑張れる様、生きる目標作りや、やる気を引き出す。	自分の地域に出掛けたり、行きつけのお店があった、こんなものを作って食べていた等、その場所の思い出話や好きなことや得意な事等、会話の中から思いだし「また〇〇に行きたい」あそこで作っていた物を作りたいなどやる気を起こしてもらおう。	6ヶ月
2	26	「ADL(手段的日常生活動作)」について、認知症が鯨飲なのか、加齢による体力低下によるものかの判断が難しく、認知症アセスメントシート(DASC-21)を用いて検討している。	現存能力や潜在能力を引き出し、個々人の力g発揮出来るような支援が行なえる様、アセスメントの充実を図る。	専用のアセスメントシートを用いて検討し、認知症によるものなのか、機能低下によるものなのか検討、判断し、個人の状態に合った支援を行なう。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。